

国際関係学部キャリアガイダンス受講教員に関するアンケート結果のとりまとめ

国際関係学部キャリア委員 古井 仁

1. キャリアデザインガイド1の内容と感想について

- (1) キャリアデザインガイド1の内容と感想に関して、次の諸点において評価を得た。
- ①内容は、低学年の学生にわかりやすく具体的である。
 - ②紙面が充実していて楽しく見ることができる。
 - ③よく工夫（ストーリー性をもたせている点、全体を見渡していく点）されていて良い。
- (2) キャリアデザインガイド1の内容と感想に関して、次の諸点における今後の課題が指摘された。
- ①文章の分量がやや多い。配色や文字サイズを変更してはどうか。
 - ②「社会人基礎力」をよりPRしてはどうか。

2. キャリアデザインガイド1の活用状況について

「活用している」と回答した教員は数パーセント、「活用している」と「今後活用してみたい」を合わせると6割ほどになる。残りの教員は「活用していない」と回答していたが、（選択肢にない）部分的に活用していると回答した教員があり、これを加えると活用率は上がる。したがって、教員が活用しやすい環境をタイミング良く整備することで、キャリアデザインガイド1の活用率の向上が見込まれる。なお、活用場面は、オリゼミ、基礎ゼミである。

3. 本学のキャリア教育に関する理解度について

「理解できていない」と回答した教員はいなかった。全体の半数の教員が「よく理解できている」「やや理解できている」と回答している。しかし「どちらともいえない」と回答した教員が半数弱ある。このような回答状況は、教員の専門分野（文化・社会・法律・政治・経済）の違いによるキャリア教育に関する関心度合いの差にかなり影響されているものと思われる。全体的な理解度を引き上げる意見交換の場を定期的に設けることを今後検討する必要があると思われる。

4. 本学のキャリア教育に関する今後の具体的な課題について

- (1) 就職難の状況を知らせ、更なる学生自身のキャリア意識付けをはかること。
- (2) SPIの重要性、この対策講座受講意識の喚起
- (3) 学生の基礎的能力の向上
- (4) 実行力の養成

5. 「教職員一体」でキャリア教育に取り組むに際し、「教員」と「職員」の役割分担に関するアイデアや具体的方法について

ゼミで、学生一人一人の活動状況、内定状況をしっかり把握できる体制をつくり、ゼミを活用した就職情報の伝達に、教員はより積極的に協力する。

6. キャリアガイダンスに参加しての印象や感想について

- (1) わかりやすく、具体的で良かったと思う。
- (2) 動機付けという面で効果的な内容と思う。
- (3) 興味をもたない関心の少し薄い学生が見受けられた。
- (4) 採用されやすい学生の具体像が聞けて有益だった。